

天文班新聞

編集者

天文班 一学年

惑星パレード

2月の下旬、夕方空に6つの惑星が並ぶ光景を目にすることができる。この光景は特定の日に起こるといふより2月下旬のほぼ全期間、2月20日頃から3月上旬にかけて見ることが出来る。

日没直後に最も見やすくなり、西の地平線上に金星・水星・土星が整列し、日没後1時間以内に沈む。海王星は土星の近くにあり、木星は東の空の真ん中あたりに位置し、天王星は南の高い空、プレデラス星団の近くにある。



↑ <https://starwalk.space/ja/news/planetary-alignment-february-28-2026> より引用

活動記録

班員が撮影した写真



2月は3日に天体観測を行なった。天候に恵まれ、雲には遮られることなく観測を行うことができた。2月2日はスノームーンと呼ばれる2月の満月であったので、当日も綺麗な満月を見ることが可能だったが、月が出るのが遅かったため観測することはできなかつた。今回は木星やオリオン座、オリオン大星雲などを観測することができた。観測には望遠鏡の他にスマート望遠鏡も用いることでより鮮明に撮影を行うことができた。オリオン座は観測終了直前の時間までタワマンの影に隠れており、観測できるかできないかのぎりぎりだったので望遠鏡で捉えることができた時は盛り上がった。すごく嬉しかった。オリオン大星雲は最も観測しやすい星雲と言われており、望遠鏡でその色までを観測することができた。気温がかなり低かつたので小さなヒーターを使ったため砂漠の中にポツンとあるオアシス的な存在となっていた。風邪を引く可能性は季節柄、十分にあり得るので皆さんも観測を行う際は暖かい格好でくれぐれも体調を崩さないよう気をつけてください。